

4. 工事関係提出書類一覧表

工事関係提出書類一覧表

No.	様式名	作成者	宛名	提出期限	備考	頁
1	工程表	請負者	契約書の甲	契約後5日以内	S49.3.30和歌山県訓令第16号 別記第5号様式	4-2
2	下請負(委任)通知書	請負者	契約書の甲	下請負の通知を求められた時(施工体制 台帳を提出する場合は省略)	別記第7号様式	4-3
3	現場代理人等通知書	請負者	契約書の甲	契約締結後速やかに	別記第8号様式	4-4
	経歴書	〃	〃	契約締結後速やかに 現場代理人のみ省略	(第8号様式) 別紙	4-5
4	現場代理人等変更通知書	請負者	契約書の甲	変更の時	別記第9号様式	4-6
5	工期延長請求書	請負者	契約書の甲	工期延長を必要とする時	別記第10号様式	4-7
6	損害発生通知書	請負者	契約書の甲	損害発生後速やかに	別記第11号様式	4-8
7	完成通知書	請負者	契約書の甲	工事完成の日	別記第12号様式	4-9
8	引渡書	〃	〃	引渡の時	別記第13号様式	4-10
9	請負代金請求書	〃	〃	請求しようとする時	別記第14号様式	4-11
10	前払金請求書	請負者	契約書の甲	請求しようとする時	別記第15号様式	4-12
11	既済部分検査請求書	請負者	契約書の甲	希望月日の15日前	工事打合簿(別紙様式第2号)にて対応 し、別記第16号様式を省略	4-13
12	指定部分完成通知書	請負者	契約書の甲	部分完成の日	別記第17号様式	4-14
13	指定部分引渡書	請負者	契約書の甲	引渡の時	別記第18号様式	4-15
14	事故発生報告書	現場代理人	建設部長等	事故発生後速やかに	別紙 様式第1号	4-16
	事故報告書(請負業者用)	〃	〃	〃		4-17
	記入コード表	〃	〃	〃		4-45
15	工事打合簿	現場代理人・監督員		打合の都度	別紙 様式第2号	4-52
16	材料確認願	現場代理人	監督員	確認を受けようとする時	工事打合簿(別紙様式第2号)にて対応 し、別紙様式第3号を省略	4-53
17	段階確認書	現場代理人	監督員	事前に	工事打合簿(別紙様式第2号)にて対応 し、別紙様式第4号を省略	4-54
18	立会願	現場代理人	監督員	〃	別紙 様式第5号工事打合簿(別紙様式第 2号)にて対応し、別紙様式第5号を省略	4-55
19	現場発生品調書	現場代理人	監督員	発生品引渡の時	工事打合簿(別紙様式第2号)にて対応 し、別紙様式第6号を省略	4-56
20	工事材料確認書	現場代理人	監督員	使用前に	別紙様式第7号にて一覧表のみを提出 関係書類は請負者保管	4-57
-	施工計画書	現場代理人	監督員	契約後15日以内 (工期及び数量のみ変更の場合は省略)		
21	再生資源利用計画書	〃	〃	契約後15日以内		4-58
	再生資源利用促進計画書	現場代理人	監督員	契約後15日以内		4-59
	再生資源利用促進実施書	現場代理人	監督員	必要の都度及び工事完成時		4-59
-	工事カルテ受領書写	現場代理人	監督員	契約後・変更後・完成後の10日以内		
-	変更工程表	現場代理人	監督員	工期変更協議開始日		
22	材料品質証明資料	現場代理人	監督員	必要の都度及び工事完成時	別紙様式第8号にて一覧表のみを提出 関係書類は請負者保管	4-60
-	工事記録写真	現場代理人	監督員	必要の都度及び工事完成時	1,000万円以上の全ての工事は、電子納品 現地で確認出来る部分の写真は省略	
-	出来型管理関係図書	現場代理人	監督員	必要の都度及び工事完成時		
-	品質管理関係図書	現場代理人	監督員	必要の都度及び工事完成時		
23	工事日誌	現場代理人	監督員	提出を求められた時		4-61
-	建退共掛金収納書	請負者	契約書の甲	契約締結後1ヶ月以内及び完成時		
24	施工体制台帳	請負者	監督員	工事着手まで		4-62
-	現場組織表(様式)	〃	〃	契約後15日以内		4-64
-	その他必要書類	-	-	-		

- 注) 1. 施工計画書等を提出する際には、「工事打合簿」を表紙とする。
2. No.1～No.13は昭和49年3月30日和歌山県訓令第16号「和歌山県建設工事事務規程」の別記様式とする。
3. No.14～No.15は別紙 様式第1号～第2号、No.20は別紙 様式第7号、No.22は別紙 様式第8号とする。

別記第5号様式(第8条関係)

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

工 事 番 号				工 事 工 程 表													
工 種	延長 数量	単 位	歩 合	月		月		月		月		月		月		請負人 Ⓜ	
				10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20		
			8 6 4 2													監督員	
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2													工 期	年 月 日から
			8 6 4 2														年 月 日まで
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2													備 考	
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														
			8 6 4 2														

【注】 工事内容に応じ、ネットワーク式とする

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

⑩

下請負(委任)通知書

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した下記工事について、工
事の一部を下記に $\left(\begin{array}{l} \text{請負わせる} \\ \text{委任する} \end{array} \right)$ ので建設工事請負契約書第 7 条の規程により
通知します。

記

1. 工事年度番号及び工事番号 年度 第 号
2. 工事名
3. 下請負等に付する部分の概要及び予定工事量
4. 下請負人等の住所、商号又は名称、資格
5. 下請負人等業種、工期、金額
6. 現場担当責任者の氏名
7. 下請負等に付する理由

円

備考

1. 施工体制台帳を提出する場合は、この様式の提出を省略する。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



現場代理人等通知書

工事年度及び工事番号 年度 第 号

工 事 名

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した上記工事の現場代理人及び技術者を下記のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて建設工事請負契約書第 10 条第 1 項の規定により通知します。

記

区 分	氏 名
現場代理人	
[]主任技術者	
[]監理技術者	
専門技術者	

備考

- 1 該当する技術者以外については、抹消すること。
- 2 建設業法第 26 条第 2 項に該当する場合は、主任技術者でなく監理技術者とする。
- 3 特定工事を自ら施工するときは、専門技術者を選任すること。
- 4 []の部分には、建設業法第 26 条第 3 項の工事の場合に「専任」の字句を記入する。
ただし、当該工事が同法第 26 条第 4 項の工事にも該当する場合には、[]の部分に「監理技術者資格者証の交付を受けた専任の」の字句を記入する。

別紙

経歴書（ ）

住 所
氏 名
生年月日 年 月 日

学 歴
1. 年 月(最終学歴)

資 格
1. 年 月

職 歴
1. 年 月
2. 年 月
3. 年 月

工事経歴
1. 年 月
2. 年 月
3. 年 月

備考

1. 表題の()には、主任技術者等該当するものの名称を記載する。
2. 最終学歴は、専攻科目まで記載する。
3. 資格は、法令による資格免許等の名称、等級、種別、登録(合格)番号を記載する。
4. 工事経歴は、工事名及び現場代理人等の任務を記載する。
5. 監理技術者資格者証の交付を受けた専任の監理技術者は、監理技術者資格者証の写しを添付すること。
6. 現場代理人はこの経歴書の提出を省略する。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

現場代理人等変更通知書

工事年度及び工事番号 年度 第 号

工事名

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した上記工事の

（ 現場代理人 ）
〔 〕主任技術者 を下記のとおり変更したので、別紙経歴書を添えて建設工事請負契約書
〔 〕監理技術者
 専門技術者

第 10 条第 1 項の規定により通知します。

記

1. 新任者
2. 旧任者
3. 理由

備考

1. 該当する事項以外については、抹消すること。
2. 別記第 8 号様式の別紙による経歴書を添付すること。
3. 〔 〕の字句の記入については、別記第 8 号様式の備考 4 によること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

工期延長請求書

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した下記の工事について、建設
工事請負契約書第 21 条の規定により、下記のとおり工期の延長を請求します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 請負代金額 ￥

4. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

5. 延長日数年月日 日 間
年 月 日

6. 理由 別紙のとおり

備考

別紙理由は、具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

損害発生通知書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号
2. 工事名
3. 請負代金額 ￥
4. 契約年月日 年 月 日
5. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事について、下記のとおり損害を生じたので、建設工事請負契約書第 29 条第 1 項の規定により通知します。

記

1. 損害発生前及び損害の概要
2. 損害の内訳数量
3. 損害発生状況を示す現場写真

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



完成通知書

下記工事は、 年 月 日に完成したので建設工事請負契約書第 31 条第 1 項の規定により通知します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 請負代金額 ￥

4. 契約年月日 年 月 日

5. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

別記第 13 号様式(第 8 条関係)

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

引渡書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工事場所

4. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事は、 年 月 日工事完成検査に合格したので工事目的物を引き渡します。

別記様式第 14 号(第 8 条関係)

請負代金請求書									
請求金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
口座振替				預金種別					
指定銀行		店		預金名義人					
下記工事請負代金として、上記金額を上記銀行の預金口座に口座振替の方法で支払いされたく請求します。 年 月 日 住 所 _____ 氏 名 _____ (印) (支払決定権者) _____ 様									
契約概要	工事年度及び工事番号			年度 第 号					
	工 事 場 所			市 町 地内			郡 村		
	工 事 名			工 事					
	請 負 代 金 額			円					
既受 領額 明細	前 払 金			円					
	前回までの部分払			円					
	同 上 出 来 高 率			%					

注意

番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥ の記号を付すること。

別記第 15 号様式(第 8 条関係)

前払金請求書									
請求金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
口座振替指定銀行 銀行 店									
下記工事請負代金の前払金として上記銀行の私名義の別口普通預金口座に口座振替の方法で支払いされたく請求します。 年 月 日 住所 _____ 氏 名 _____ (印) (支払決定権者) _____ 様									
契 約 概 要	工事年度及び工事番号			年度 第 号					
	工 事 場 所			市 町		郡 村			地内
	工 事 名			工事					
	請 負 代 金 額			円					
	契約により定めた前払限度額			円					

注意

番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥ の記号を付すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名



既済部分検査請求書

下記工事の既済部分(第 回)検査を請求します。

記

1. 工事年度及び工事番号年度第号
2. 工事名
3. 請負代金額
- 年度
- 年度
- 年度
4. 契約年月日年月日
5. 工期年月日から年月日まで
6. 検査希望年月日年月日
7. 検査実施場所

備考
債務負担行為に係る工事の場合は、出来高予定額を記載すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

指定部分完成通知書

下記工事の指定部分は、 年 月 日に完成したので通知します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

4. 請負代金額 ￥

(出来高予定額)

年度 ￥

年度 ￥

5. 指定部分工期 年 月 日から
年 月 日まで

6. 指定部分に対する請負代金相当額 ￥

備考

債務負担行為に係る工事の場合は、出来高予定額を記載すること

年 月 日

和歌山県知事 様

請負人 住所
氏名

印

指定部分引渡書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工事場所

4. 工期 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事の指定部分は、 年 月 日既済部分検査に合格したので指定部分に係る工事目的物を引き渡します。

様式第1号

年 月 日

様

請負人名称
現場代理人

事故発生報告書

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

上記工事において[別紙]事故報告書のとおり事故が発生しましたので報告します。

事故報告書には、一般事故報告書(三重大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

[illegible]

事故の原因となった者の所属する会社の規模	会 社 名	(30文字以内)						
	元請け・下請け	1. 元請け 2. 下請け (□次)						
	当該会社 有資格者数 工事の種類(右コード表参照)とその人数を、多い順に上位5つまで記入		建設工事の種類	1級	2級	その他	技術職員数	評点Z
		1位	〔□□〕	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		2位	〔□□〕	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		3位	〔□□〕	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		4位	〔□□〕	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		5位	〔□□〕	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		上記以外の□所有者の合計人数		□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		合 計		□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
	事故歴の有無とその内容 (過去5年)	1. 無し 2. 有り (有りのとき、その内容を記入) (160文字)						
								
.....								
.....								
.....								

- 左表の「建設工事の種類」のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の週類
01	土木一式	17	浚渫（しゅんせつ）
02	土木一式（PC）	18	板金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび土工	22	内装仕上げ
07	とび土工（法面）	23	機械器具
08	石	24	熱絶縁
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	造園
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建具
13	鋼構造物	29	水道
14	鋼構造物（鋼橋上）	30	消防
15	鉄筋	31	清掃
16	ほ装	99	その他

安全管理の実施状況	安全教育の実施状況	現場全体	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者	a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
				新規入場者・作業変更者	() () () その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []
				作業員	() () () () その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []
				その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []
				内容 (250文字)			
		当該作業	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者	a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
	新規入場者・作業変更者			() () () () その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []	
	作業員			() () () () その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []	
	その他 []			() () () () その他 []	() () () () その他 []	() () () () その他 []	
	内容 (250文字)						
	安全対策の実施状況	現場全体	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:() () () その他 [] (33文字)			
				ハード面:() () () その他 [] (33文字)			
		当該作業	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:() () () その他 []		事故後の現場全体の措置改善事項等 (250文字)	
				ハード面:() () () その他 []			
			内容 (160文字)				
安全点検の実施状況	現場全体	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:() () () その他 [] (29文字)				
			2. 物的面:() () () その他 []				
			3. 管理面:() () () その他 []				
			4. 環境面:() () () その他 []				
	当該作業	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:() () () その他 [] (29文字)		事故後の当該作業の措置改善事項等 (160文字)		
			2. 物的面:() () () その他 []				
			3. 管理面:() () () その他 []				
			4. 環境面:() () () その他 []				
内容 (160文字)							

様式－2（4）

施 工 体 系 図 （無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。）

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書（三重大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料② : 事故状況説明図

(* 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三重大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料③ー1： 事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)		添付資料③ー2： 事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)								
作用員・誘導員配置状況図 【記入方法】 記号(右の凡例参照)を使用して、 下の重機のまわりに配置状況を図示する。 * 右下の記入例参照 <table><tr><td rowspan="3">凡例</td><td>◎</td><td>常時配置していた誘導員</td></tr><tr><td>△</td><td>配置していたが、事故発生時には現場を離れていた誘導員</td></tr><tr><td>□</td><td>従業員 (被災者)</td></tr></table>		凡例	◎	常時配置していた誘導員	△	配置していたが、事故発生時には現場を離れていた誘導員	□	従業員 (被災者)		
凡例	◎		常時配置していた誘導員							
	△		配置していたが、事故発生時には現場を離れていた誘導員							
	□	従業員 (被災者)								
(前方) 重機 (後方) 記入例 ◎ 2.0m (前方) 重機 (後方) 2.0m 1.2m □ □										

(* 図中に寸法を明記すること)

作成年月日				H()年()月()日()曜日				記入者氏名				記入者の役職				被災者との関係																							
工 事 名 (40文字)												事故発生年月日 : H()年()月 ()日()曜日()時()分頃 (24H)						注)同じ工事現場体制内で被災者、加害者がいる場合に○、×を付す。同じ工事現場体制で他の作業現場の作業員が加害者の場合は、最下段の欄に記入してください。																					
元 請	社 名 (30文字)										電話番号 ()-()-()						当該作業の指示 系統に係わった 元請け・下請け関係 元請け 【〇〇】 【〇〇】 【〇〇】 【〇〇】 下請け()次 【〇〇】 【〇〇】 【〇〇】 下請け()次 【〇〇】 【〇〇】 【〇〇】 当該作業の 下請け()次 【〇〇】 【〇〇】 作業員 作業員 作業員 作業員 作業員 作業員 作業員 作業員 作業員 作業員 他の作業の下請 け()次 作業員(危害を加 える行為をした 者) 【〇〇】																						
	建設業許可番号コード(コード表1参照)				【〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇】																																		
事 故 発 生 状 況	事故概要		足場墜落事故 (足場墜落事故コード表9参照、その他のときは内容を記載)														当該作業の指示 系統 当 該 作 業 に 関 す る 指 示 系 統																						
			墜落の高さ 【〇〇〇. 〇】m																																				
			足場の種類 【〇〇】 その他内容 []																																				
			墜落箇所 【〇〇】 その他内容 []																																				
			被災者の作業区分 【〇〇】 その他内容 []																																				
			被災者の墜落直前の行動パターン 【〇〇】 その他内容 []																																				
			被災者の安全帯使用状況 【〇〇】 その他内容 []																																				
			事故に至る経緯と事故の状況 (250文字)																																				
	他の作業 状況		他の作業状況 (250文字)																																				
	当該作業 の指示内 容と指示 方法 (事故当 日)		当該作業の事故当日の変更指示内容 (該当するものに○)																																				
			変更指示の有無				1. 有り 2. 無し																																
			変更指示の伝達方法				1. 作業標準書での伝達 2. 口頭 3. その他																																
			その他の場合の伝達方法 []																																				
			指示内容 (変更指示があった場合は、前との変化が判るように記入) (200文字)																																				
安全上の 注意事項		当該作業に伴う安全上での注意事項の伝達内容 (事故当日) (200文字)																																					
工事全体の進捗度		計画 (〇〇〇) %				実績 (〇〇〇) %				当該作業の進捗度				計画 (〇〇〇) %				実績(〇〇〇)%				事故要因コード (コード表2参照、その他の場合には[]内に内容を記入)																	
人的要因・共通要因		危害を加える行為をした者				A ()				B ()				C ()				D ()																					
事故関係者毎にどれか1つに○		危害を受けた者				A ()				B ()				C ()				D ()																					
さらに()内に人数を記入す		自らの行動で被災した者				A ()				B ()				C ()				D ()																					
1. 人的要因		危害を加える行為をした者				〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		その他 []																									
		危害を受けた者				〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		その他 []																									
		自らの行動で被災した者				〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		その他 []																									
2. 物質的要因		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		その他 []																													
3. 管理的要因		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		その他 []																													
事故の 背景																事故発生現場の作業環境 気温(±〇〇〇)℃、湿度(〇〇〇)%、視程距離(〇〇〇. 〇)m 明るさ、風 (該当するものに○) 明るさ 1. 明るかった 2. 薄暗かった 3. 暗かった 風 1. 微風 2. 弱風 3. 中風 4. 強風																							
事故の 要因		被災者の作業手順無視不良の有無														事故発生現場(足場上)での重複作業 (該当するものに○) 1. 有り 2. 無し 有りの場合コード表9から選択 【〇〇】 その他のときの内容 []																							
		1. 有り 2. 無し 有りの場合コード表9から選択 【〇〇】 その他のときの内容 []																																					

墜落事故用

【請負業者用】

平成 年度 事故報告書【請負業者用】（2／4）

墜落請負

様式－2（2）

事故当事者の情報	事故当事者	被災者				加害に関係した者	
	氏名						
	性別	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女
	現場経験年数	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年
	入場日数	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日
	事故歴の有無とその内容 2. 有りの場合は内容を記入	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り
	社員・季節労働者等の別	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者
雇用形態 (第3者は除く)	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 ()	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 ()	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 ()	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 ()	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 ()	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 ()	
給与形態 (第3者は除く)	1. 月給 2. 日給・月給 3. その他 ()	1. 月給 2. 日給・月給 3. その他 ()	1. 月給 2. 日給・月給 3. その他 ()	1. 月給 2. 日給・月給 3. その他 ()	1. 月給 2. 日給・月給 3. その他 ()	1. 月給 2. 日給・月給 3. その他 ()	

事故の原因となった者の所属する会社の規模	会社名	(30文字以内)						
	元請け・下請け	1. 元請け 2. 下請け (□次)						
	当該会社 有資格者数 工事の種類(右コード表参照)とその人数を、多い順に上位5つまで記入		建設工事の種類	1級	2級	その他	技術職員数	評点Z
		1位	[□□]	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		2位	[□□]	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		3位	[□□]	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		4位	[□□]	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		5位	[□□]	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
			上記以外の□所有者の合計人数	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□
		合 計	□□□人	□□□人	□□□人	□□□人	□□□□	
事故歴の有無とその内容 (過去5年)	1. 無し 2. 有り (有りのとき、その内容を記入) (160文字)							

・事故の原因となった者(加害者、自災者、被災者等)の所属する会社の、工事種類別有資格者数を多い順に上位5位まで記入する。この有資格者数、評点Z等は「経営事項審査結果通知書」から引用できる。また、(財)建設業情報センターのHome page [http:www.ciic.or.jp]からこれを検索することも可能である。

・また、事故の原因となった者の所属する会社が複数社ある場合、2社目以降はこの「様式－2(2)」をコピーし上記表(事故の原因となった者の所属する会社の規模)のみを記入し、提出する。

左表の「建設工事の種類」のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の週類
01	土木一式	17	浚渫 (しゅんせつ)
02	土木一式 (PC)	18	板金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび土工	22	内装仕上げ
07	とび土工 (法面)	23	機械器具
08	石	24	熱絶縁
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	造園
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建具
13	鋼構造物	29	水道
14	鋼構造物 (鋼橋上)	30	消防
15	鉄筋	31	清掃
16	ほ装	99	その他

安全管理の実施状況	安全教育の実施状況	現場全体	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者	a 内容(複数回答可)		b 教材(複数回答可)		c 実施頻度	
				新規入場者・作業変更者	() () () () その他 []		() () () () その他 []		() () () () その他 []	
				作業員	() () () () その他 []		() () () () その他 []		() () () () その他 []	
				その他 []	() () () () その他 []		() () () () その他 []		() () () () その他 []	
			内容 (250文字)							
	当該作業	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者	a 内容(複数回答可)		b 教材(複数回答可)		c 実施頻度		
			新規入場者・作業変更者	() () () () その他 []		() () () () その他 []		() () () () その他 []		
			作業員	() () () () その他 []		() () () () その他 []		() () () () その他 []		
			その他 []	() () () () その他 []		() () () () その他 []		() () () () その他 []		
	内容 (250文字)									
安全管理の実施状況	安全対策の実施状況	現場全体	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:() () () その他 [] (33文字)						
				ハード面:() () () その他 [] (33文字)						
		内容 (160文字)								
		当該作業	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:() () () その他 [] (33文字)						
				ハード面:() () () その他 [] (33文字)						
	事故発生現場周辺の設備・設置状況 (該当するものに○、無しの場合理由を記入)			親網の設置状況 (1. 有り 2. 無し)	[]					
	手すりの設置状況 (1. 1段手すり 2. 2段手すり 3. 無し)			[]						
	安全点検の実施状況	現場全体	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:() () () その他 []						
				2. 物的面:() () () その他 []						
				3. 管理面:() () () その他 []						
4. 環境面:() () () その他 []										
内容 (160文字)										
当該作業	足場点検	点検の有無 (該当するものに○、無しの場合理由を記入) (1. 有り 2. 無し) []	点検の頻度 (例:毎日) []		点検のタイミング (例:朝礼後) []		事故後の当該作業の措置改善事項等 (160文字)			
			点検者 : []							
			点検方法 : []							
	内容 (160文字)									

様式－2（4）

施 工 体 系 図

（無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。）

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書（三重大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料② : 事故状況説明図

(* 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三重大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料③ー1：事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③ー2：事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

(＊図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

作成年月日			H()年()月()日()曜日			記入者氏名			記入者の役職			被災者との関係											
工 事 名 (40文字)						事故発生年月日 : H()年()月 ()日()曜日()時()分頃 (24H)						注)同じ工事現場体制内で被災者、加害者がいる場合に○、×を付す。同じ工事現場体制で他の作業現場の作業員が加害者の場合は、最下段の欄に記入してください。											
元 請	社 名 (30文字)						電話番号 ()-()-()-()						当該作業の指示 系統に係わった 元請け・下請け関 係 元請け	役 職 (コード表3)	被害者:○ 危害を加える 行為をした 者:×	事故発生時 の行動区分 (コード表4)	事故発生時の行動内容	年齢	当該作業に 係わる所有 資格・免許 (コード表5)	役職に 対する 実務経 験年数	資格・免 許取得後 の実務経 験年数	現場 経験 年数	入場 日数
	建設業許可番号コード(コード表1参照)			[□□-□□□□□□]																			
事 故 発 生 状 況	事故概要 (事故に至 る経緯と事 故の状況)	一般車両によるもらい事故	事故形態 (該当する番号へ○、その事故説明をコード表より記入)			事故説明 (交通事故コード表[表9]より参照)				当 該 作 業 に 関 す る 指 示 系 統	下請け()次	【□□】		【□□】			□□	【□□□】	□□	□□	□□	□□	
			1. 作業員・交通整理員被災			表9-1	表A	表B	表C														
			2. 物損事故			□																	
						□																	
		車両同士での事故	3. 作業車両同士の事故				□																
			4. 作業車両と一般車両の事故				□																
		作業車両による事故	5. 作業員被災					□	□														
			6. 物損事故					□															
			7. 第3者災害				□																
			8. 第3者自災事故																				
	他の作業 状況																						
当該作業 の指示内 容と指示 方法 (事故当 日)	当該作業の事故当日の変更指示内容 (該当するものに○)										当該作業の 下請け()次	【□□】		【□□】			□□	【□□□】	□□	□□	□□	□□	
	事故当日の変更指示の有無						1. 有り 2. 無し																
	変更指示の伝達方法						1. 作業標準書での伝達 2. 口頭 3. その他																
安全上での 注意事項の伝達 内容	その他の場合の伝達方法 []										他の作業の下請 け()次	作業員(危害を加 える行為をした 者)		【□□】			□□	【□□□】	□□	□□	□□	□□	
	指示内容 (変更指示があった場合は、前との変化が判るように記入)																						
工事全体の進捗度			計画 (□□□) %			実績 (□□□) %			当該作業の進捗度			計画 (□□□) %			実績(□□□)%								
事故要因コード (コード表2参照、その他の場合には[]内に内容を記入)																							
人的要因・共通要因		危害を加える行為をした者				A ()		B ()		C ()		D ()											
事故関係者毎にどれか1つに○		危害を受けた者				A ()		B ()		C ()		D ()											
さらに()内に人数を記入す		自らの行動で被災した者				A ()		B ()		C ()		D ()											
1. 人的要因		危害を加える行為をした者				□□	□□	□□	□□	その他 []				事故の要因 (100文字)				事故の背景 (100文字)					
		危害を受けた者				□□	□□	□□	□□	その他 []													
		自らの行動で被災した者				□□	□□	□□	□□	その他 []													
2. 物質的要因		□□	□□	□□	□□	その他 []																	
3. 管理的要因		□□	□□	□□	□□	その他 []																	

安全管理の実施状況	安全教育の実施状況	現場全体	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者	a 内容(複数回答可)				b 教材(複数回答可)				c 実施頻度					
				新規入場者・作業変更者		() () () その他 []				() () () その他 []				() () () その他 []				
				作業員		() () () その他 []				() () () その他 []				() () () その他 []				
				その他 []		() () () その他 []				() () () その他 []				() () () その他 []				
		内容 (250文字)																
		当該作業	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者	a 内容(複数回答可)				b 教材(複数回答可)				c 実施頻度					
	新規入場者・作業変更者			() () () その他 []				() () () その他 []				() () () その他 []						
	作業員			() () () その他 []				() () () その他 []				() () () その他 []						
	その他 []			() () () その他 []				() () () その他 []				() () () その他 []						
	内容 (250文字)																	
	安全対策の実施状況	現場全体	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:() () () その他 []														
				ハード面:() () () その他 []														
		内容 (160文字)																
		当該作業	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:() () () その他 []		ハード面:() () () その他 []										事後の現場全体の措置改善事項等 (250文字) (保安施設・交通整理員の内容については詳しく)		
				交通整理員の状態	服装の色	() 色	() 色	() 色	() 色									
					蛍光・電飾 (該当するものに○)	1. 有り 2. 無し	1. 有り 2. 無し	1. 有り 2. 無し	1. 有り 2. 無し									
現場経験年数					(□□) 年	(□□) 年	(□□) 年	(□□) 年										
所有資格					[]	[]	[]	[]										
内容 (160文字)																		
安全点検の実施状況		現場全体	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:() () () その他 [] (29文字)														
	2. 物的面:() () () その他 []																	
	3. 管理面:() () () その他 []																	
	4. 環境面:() () () その他 []																	
	内容 (160文字)																	
	当該作業	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:() () () その他 [] (29文字)															
2. 物的面:() () () その他 []																		
3. 管理面:() () () その他 []																		
4. 環境面:() () () その他 []																		
内容 (160文字)																		

様式－2（4）

施 工 体 系 図 (無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。)

添付資料① : 事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書(三重大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料②： 事故状況説明図		(保安施設・交通整理員配置状況図)
事故発生前	一般車両によるもらい事故(作業員・交通整理員被災または、物損事故)の場合、「一般車両の動作状況」に該当する番号に○をつける。(操作マニュアルの参考図を参照)	
	一般車両の動作状況 1. 工事区域内に向けて直進進入 2. 工事区域内に対して側面進入 3. 通行可能斜線走行中 4. 規制終了後の斜線変更時 5. 歩道進入 6. 交差点右左折 7. 交差点直進 8. その他(内容を下記に記入) (90文字) 記入記号 ○:現場作業員 ◎:交通整理員	
事故発生後		

添付資料③ー1： 事故状況平面図 （事故のポイントとなる部分を明示して下さい）	添付資料③ー2： 事故状況断面図 （事故のポイントとなる部分を明示して下さい）

（＊ 図中に寸法を明記すること）

事故報告書には、一般事故報告書（三重大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

事故当事者の情報	事故当事者	被災者				加害に関係した者	
	氏名						
	性別	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女
	現場経験年数	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年	(□ □)年
	入場日数	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日
	事故歴の有無と その内容 2. 有りの場合は内容を記入	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り
	社員・季節労働者等の別	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者	1. 元請 2. 下請社員 (□ 次) 3. 季節労働者 4. 第3者
雇用形態 (第3者は除く)	1. 常雇 2. 臨時 3. 日雇 4. その他 (						

- ・事故の原因となった者(加害者、自災者、被災者等)の所属する会社の、工事種類別有資格者数を多い順に上位5位まで記入する。この有資格者数、評点Z等は「経営事項審査結果通知書」から引用できる。また、(財)建設業情報センターのHome page [http://www.ciic.or.jp]からこれを検索することも可能である。
- ・また、事故の原因となった者の所属する会社が複数社ある場合、2社目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし上記表(事故の原因となった者の所属する会社の規模)のみを記入し、提出する。

コード	工事の種類	コード	工事の週類
01	土木一式	17	浚渫（しゅんせつ）
02	土木一式（PC）	18	板金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび土工	22	内装仕上げ
07	とび土工（法面）	23	機械器具
08	石	24	熱絶縁
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	造園
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建具
13	鋼構造物	29	水道
14	鋼構造物（鋼橋上）	30	消防
15	鉄筋	31	清掃
16	ほ装	99	その他

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大多発事故以外)
【請負業者用】
様式－2(3)

平成 年度 事故報告書 【請負業者用】（3／4）

安全管理の実施状況	安全教育の実施状況	現場全体	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者		a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
				新規入場者・作業変更者		()()()その他 []	()()()その他 []	()()()その他 []
				作業員		()()()その他 []	()()()その他 []	()()()その他 []
				その他 []		()()()その他 []	()()()その他 []	()()()その他 []
		内容 (250文字)						
		当該作業	安全教育コード コード表6参照 (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者		a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
	新規入場者・作業変更者				()()()その他 []	()()()その他 []	()()()その他 []	
	作業員				()()()その他 []	()()()その他 []	()()()その他 []	
	その他 []				()()()その他 []	()()()その他 []	()()()その他 []	
	内容 (250文字)							
	安全対策の実施状況	現場全体	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:()()() その他 [] (33文字)				
				ハード面:()()() その他 [] (33文字)				
		内容 (160文字)						
			当該作業	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表7から記入する)	ソフト面:()()() その他 [] (33文字)			
		ハード面:()()() その他 [] (33文字)						
		内容 (160文字)	事故後の現場全体の措置改善項目等 (248文字)					
	安全点検の実施状況	現場全体	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:()()()その他 [] (29文字)				
				2. 物的面:()()()その他 []				
3. 管理面:()()()その他 []								
4. 環境面:()()()その他 []								
内容 (160文字)								
		事故後の当該作業の措置改善事項等 (160文字)						
当該作業	安全点検コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード表8から記入する)	1. 人的面:()()()その他 [] (29文字)						
		2. 物的面:()()()その他 []						
内容 (160文字)	3. 管理面:()()()その他 []							
	4. 環境面:()()()その他 []							
内容 (160文字)								

事故報告書には、一般事故報告書(三大多発事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類が有ります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大多発事故以外)
【請負業者用】

平成 年度 事故報告書【請負業者用】（4／4）

様式－2(4)

施 工 体 系 図 (無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。)

一般事故用(三大多発事故以外)
【請負業者用】

添付資料② : 事故状況説明図

(* 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大多発事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大多発事故以外)
【請負業者用】

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書(三大多発事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大多発事故以外)
【請負業者用】

添付資料③ー1： 事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③ー2： 事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

(* 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大多発事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

事故報告書の記入コード表〔請負業者用〕

大臣・知事コード一覧表（表１）

コード		コード		北海道知事	コード	
00	建設大臣	24	三重県知事		80	石狩支庁
01		25	滋賀県知事		81	渡島支庁
02	青森県知事	26	京都府知事		82	桧山支庁
03	岩手県知事	27	大阪府知事		83	後志支庁
04	宮城県知事	28	兵庫県知事		84	空知支庁
05	秋田県知事	29	奈良県知事		85	上川支庁
06	山形県知事	30	和歌山県知事		86	留萌支庁
07	福島県知事	31	鳥取県知事		87	宗谷支庁
08	茨城県知事	32	島根県知事		88	網走支庁
09	栃木県知事	33	岡山県知事		89	胆振支庁
10	群馬県知事	34	広島県知事		90	日高支庁
11	埼玉県知事	35	山口県知事		91	十勝支庁
12	千葉県知事	36	徳島県知事		92	釧路支庁
13	東京都知事	37	香川県知事		93	根室支庁
14	神奈川県知事	38	愛媛県知事			
15	新潟県知事	39	高知県知事			
16	富山県知事	40	福岡県知事			
17	石川県知事	41	佐賀県知事			
18	福井県知事	42	長崎県知事			
19	山梨県知事	43	熊本県知事			
20	長野県知事	44	大分県知事			
21	岐阜県知事	45	宮崎県知事			
22	静岡県知事	46	鹿児島県知事			
23	愛知県知事	47	沖縄県知事			

役職コード表（表３）

コード	役 職	コード	役 職
01	現場代理人	06	安全衛生管理者
02	監理技術者	07	職長
03	主任技術者	08	安全巡視員
04	統括安全衛生管理者	50	作業員
05	元方安全衛生管理者		

行動区分コード表（表４）

分 類	コード	内 容
当該作業実施業者以上の階層の業者	01	当該作業現場にいて、作業全体を監督していた。
	02	当該作業現場にいて、他の作業の安全点検をしていた。
	03	当該作業現場にいて、作業全体の進捗状況を確認していた。
	04	当該作業現場にいて、当該作業を監督していた。
	05	当該作業現場にいて、当該作業の安全点検を実施していた。
	06	工事現場にはいたが、当該作業現場にはいなかった。
	07	当日は、不在であった。
	08	その他
当該作業現場の責任者（職長、安全衛生責任者、作業責任者等）	09	当該作業現場にいて、作業全体を監督していた。
	10	当該作業現場にいて、別作業の指示・監視をしていた。
	11	当該作業現場にいて、当該作業を指示・監督していた。
	12	当該作業現場から離れて、他の作業を指示・監督していた。
	13	工事現場にはいたが、当該作業現場にはいなかった。
	14	当日は、不在であった。
	15	その他
当該作業現場、他の作業現場の作業員	16	被災者と一緒に作業を実施していた。
	17	被災者の近くで別作業をしていた。
	18	被災者とは離れて別作業をしていた。
	19	その他

要因コード表（表２）

共通要因・人的要因

共通要因	A	危険だと思わなかった。
	B	危険だと思っていたが、大丈夫だろうと思って危険な行動をとった。
	C	危険だと思っていたが、誤った知識による（危険な）行動をとった。
	D	危険だと思っていたが、無意識（うっかり）による行動をとった。

人的要因

規律の無視行為・危険な行為	01	機械・装置等の操作取り扱いを誤った。
	02	資格が無いのにやった。
	03	指示、命令を守らなかった。
	04	作業標準を守らなかった。
	05	安全装置をはずした、無効にした。
	06	機械・装置等を指定外の方法で使った。
	07	防護物・保護具を使用しなかった。
	08	機械・装置等を不安全に動かした。
	09	準備段取り点検、確認を怠った。
	10	欠陥のある機械・装置、工具、用具等を用いた。
	11	機械・装置を不安全な状態にして放置した。
	12	工具、用具、材料等を不安全な場所に置いた。
肉体的精神的要因	13	油断、軽視した。
	14	放心、考えごとをしていた。
	15	気持ちがあせっていた。
	16	勘違い判断をした。
	17	危険を知らずにやった。
	18	熱中して判らなかった。
	19	よそ見をしていた。
	20	身体の調子が悪かった。
共同作業上の行為	21	連絡合図がなかった。
	22	連絡合図が不明瞭だった。
	23	合図、信号を統一していなかった
	24	相手の動作を確認しなかった
	25	合図を勘違いした。
不安定な位置・姿勢	26	危険有害な場所に入った。
	27	不安全な場所へのった。
	28	動いている機械、装置等に接近しまたは触れた。
	29	つり荷に触れ、下に入りまたは近づいた。
	30	確認なしに崩れやすい物に寄りまたは触れた。
	31	無理な姿勢で作業した。
	32	服装が不適だった。
	33	保護具の選択、使用方法を誤った。
その他	23	その他の不安全行為があった
	99	その他

物的要因

物自体の欠陥	01	設計構造が悪かった。
	02	機械・器具の材料に欠陥があった。
	03	機械・器具に欠陥があった。
	04	安全度が不足だった。
防護設備・保護具の欠陥	05	危険防止設備が欠陥・未設置だった。
	06	開口部覆い・手摺等防止設備に欠陥があった。
	07	作業床等防止設備に欠陥・未設置があった。
	08	水平・垂直養生が欠陥・未設置だった。
	09	安全帯取付け設備が欠陥・未設置だった。
	10	安全通路・昇降設備が欠陥・未設置だった。
	11	ステージ・構台・ローリングタワーに欠陥があった。
	12	梯子・脚立等に欠陥があった。
	13	飛来落下防護が欠陥・未設置だった。
	14	投下設備の設置が欠陥・未設置だった。
	15	安全装置が不適、不良だった。
	16	防火設備に欠陥・不備があった。
	17	安全標識がなかった。
	18	保護具が不適・不足だった。
	19	保護具が不良だった。
作業周辺の欠陥	20	不安全に物が置いてあった。
	21	物を置いた場所が悪かった。
	22	作業場が狭かった。
	23	作業場の整理が悪かった。
作業環境の欠陥	24	照明が不良だった。
	25	換気が悪かった。
	26	振動があった。
	27	騒音があった。
	28	粉塵が多かった。
	29	酸欠状態だった。
	30	ガスが存在していた。
	31	交通量が多かった。
	32	天候条件が悪かった（雨・風・雪等）。
	33	地形条件が悪く、見通しが悪かった。
	34	作業環境項目を測定していなかった。
	35	その他の作業環境に欠陥があった。
他	99	その他

管理的要因

教育指導の欠陥	01	作業方法を教えていなかった。
	02	危険な有害作業の教育が不十分だった。
	03	基礎心得の教育・訓練が不十分だった。
	04	理解度の確認が不十分だった。
	05	教育訓練体制が不備であった。
施工計画の欠陥	06	施工計画・作業標準が不備だった。
	07	作業の安全指示が不適切だった。
	08	作業員の配置に能力・人員数で無理があった。
	09	施工体制台帳に不備があった。
	10	指揮者、誘導員をつけていなかった。
	11	安全対策費用が不十分だった。
	12	各種安全活動が不備だった。
	13	適切な技術者の配置に不備があった
	14	無資格者にやらせた。
	15	事前調査・資料調査が不十分だった。
安全管理体制の欠陥	16	現場施工条件変化に不適切に対応した。
	17	下請け指導が不適切だった。
	18	緊急通報体制が未確立・不備であった。
	19	安全施設・安全標識の点検不足だった。
	20	隣接工区との連携に不備があった。
	21	責任者が日常巡視をしていなかった。
	22	周辺地域への周知に不備があった。
	23	資格者のチェックをしていなかった。
	24	気象条件の収集と対応をしなかった。
	25	安全管理体制に欠陥があった。
	26	工事現場出入口付近での交通事故防止対策をしなかった。
	27	作業中止の基準を定めていなかった。
	28	健康診断を実施していなかった。
	29	危険物の管理に欠陥・不備があった。
その他	30	現場内連絡調整が不備だった。
	31	工程に無理があった。
	99	その他

資格・免許コード表（表５）

コード	資格・免許分類	コード	資格・免許分類	コード	資格・免許分類
001	一級建設機械施工技士	044	工場板金（２級）	082	プレス機械作業主任者
002	二級建設機械施工技士	045	板金「建築板金作業」・建築板金・板金工「建築板金作業」（１級）	083	乾燥設備作業主任者
003	一級土木施工管理技士			084	コンクリート破砕器作業主任者
004	二級土木施工管理技士	046	板金「建築板金作業」・建築板金・板金工「建築板金作業」（２級）	085	地山の掘削作業主任者
005	一級建築施工管理技士			086	土止め支保工業主任者
006	二級建築施工管理技士	047	板金・板金工・打出し板金（１級）	087	ずい道等の掘削等作業主任者
007	一級電気工事施工管理技士	048	板金・板金工・打出し板金（２級）	088	ずい道等の履工作業主任者
008	二級電気工事施工管理技士	049	かわらぶき・スレート施工（１級）	089	採石のための掘削作業主任者
009	一級管工事施工管理技士	050	かわらぶき・スレート施工（２級）	090	はい作業主任者
010	二級管工事施工管理技士	051	ガラス施工（１級）	091	船内荷役作業主任者
011	一級造園施工管理技士	052	ガラス施工（２級）	092	型わく支保工の組立て等作業主任者
012	二級造園施工管理技士	053	塗装・木工塗装・木工塗装工（１級）	093	足場の組立て等作業主任者
013	一級建築士	054	塗装・木工塗装・木工塗装工（２級）	094	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者
014	二級建築士	055	建築塗装・建築塗装工（１級）	095	鋼橋架設等作業主任者
015	木造建築士	056	建築塗装・建築塗装工（２級）	096	木造建築物の組立て等作業主任者
016	第一種電気工事士	057	金属塗装・金属塗装工（１級）	097	コンクリート造の工作物の解体等作業主任者
017	第二種電気工事士	058	金属塗装・金属塗装工（２級）	098	コンクリート橋架設等作業主任者
018	電気主任技術者（第１種～第３種）	059	噴霧塗装（１級）	099	ボイラー据付工事作業主任者
019	建築大工（１級）	060	噴霧塗装（２級）	100	第一種圧力容器取扱作業主任者
020	建築大工（２級）	061	畳製作・畳工（１級）	101	特定化学物質等作業主任者
021	左官（１級）	062	畳製作・畳工（２級）	102	鉛作業主任者
022	左官（２級）	063	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕上げ施工・表装・表具・表具工（１級）	103	四アルキル鉛等作業主任者
023	とび・とび工・型枠施工・コンクリート圧送施工（１級）			104	酸素欠乏危険作業主任者
024	とび・とび工・型枠施工・コンクリート圧送施工（２級）	064	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕上げ施工・表装・表具・表具工（２級）	105	有機溶剤作業主任者
025	空気調和設備配管（１級）			106	第一種衛生管理者
026	空気調和設備配管（２級）	065	熱絶縁施工（１級）	107	第二種衛生管理者
027	給排水衛生設備配管（１級）	066	熱絶縁施工（２級）	108	衛生工学衛生管理者
028	給排水衛生設備配管（２級）	067	建具製作・建具工・木工・カーテンウォール施工・サッシ施工（１級）	109	特級ボイラー技士
029	配管・配管工（１級）			110	一級ボイラー技士
030	配管・配管工（２級）	068	建具製作・建具工・木工・カーテンウォール施工・サッシ施工（２級）	111	二級ボイラー技士
031	タイル張り・タイル張り工（１級）			112	特定第一種圧力容器取扱作業主任者
032	タイル張り・タイル張り工（２級）	069	造園（１級）	113	発破技士
033	築炉・築炉工（１級）・れんが積み	070	造園（２級）	114	揚貨装置運転士
034	築炉・築炉工（２級）	071	防水施工（１級）	115	特別ボイラー溶接士
035	ブロック建築・ブロック建築工（１級）・コンクリート積みブロック施工	072	防水施工（２級）	116	普通ボイラー溶接士
		073	さく井（１級）	117	ボイラー整備士
036	ブロック建築・ブロック建築工（２級）	074	さく井（２級）	118	クレーン運転士
037	石工・石材施工・石積み（１級）	075	高圧室内作業主任者	119	移動式クレーン運転士
038	石工・石材施工・石積み（２級）	076	ガス溶接作業主任者	120	デリック運転士
039	鉄工・製罐（１級）	077	林業架線作業主任者	121	潜水土
040	鉄工・製罐（２級）	078	ボイラー取扱作業主任者	122	その他
041	鉄筋組立て・鉄筋施工（１級）	079	エックス線作業主任者		
042	鉄筋組立て・鉄筋施工（２級）	080	ガンマ線透過写真撮影作業主任者		
043	工場板金（１級）	081	木材加工用機械作業主任者		

安全教育コード表（表6）

表6 a 教育内容

コード	教 育 内 容
01	機械等、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱い方法に関すること
02	安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及びこれらの取扱い方法に関すること
03	作業手順に関すること
04	作業開始時の点検に関すること
05	当該業務に関して発生するおそれのある疾病の原因及び予防に関すること
06	整理、整頓及び清潔の保持に関すること
07	事故時等における応急措置及び退避に関すること
08	その他当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項
99	その他

表6 b 教材

コード	教 材
01	ビデオ
02	スライド
03	マニュアル
99	その他

表6 c 実施頻度

コード	実施頻度
01	随時
02	毎日
03	週1回程度
04	月1回程度
99	その他

安全点検コード表（表8）

分 類	コード	点検項目
1.人的面からの点検	01	保護具
	02	健康
	03	技能
	04	資格
	05	適正配置
	99	その他
2.物的面からの点検	01	設備
	02	機械
	03	材料
	04	工具
	99	その他
3.管理面からの点検	01	作業内容
	02	作業手順
	03	職種間の調整
	04	緊急時の措置
	99	その他
4.環境面からの点検	01	作業場所
	02	有害物
	03	換気
	04	照明
	05	温度
	06	湿度
	99	その他

安全対策コード表（表7）

表7 a ソフト面での対策

コード	ソフト面での対策
01	ツール・ボックス・ミーティング
02	危険予知（KY）運動
03	ヒヤリ・ハット運動
04	ゼロ災運動
05	整理・整頓運動
06	安全意識の高揚運動
07	安全施工サイクル活動
08	着手前打合せ
09	安全工程打合せ
10	安全朝礼
11	安全ミーティング
12	安全パトロール
99	その他

表7 b ハード面での対策

コード	ハード面での対策
01	作業帯区画バリケードの設置
02	安全ネットの設置
03	第三者に対する注意標識の設置
04	車両誘導員の配置
05	場内安全通路の設定
06	立入禁止区域の設定・区画
99	その他

重機事故コード表（表9）

重機コード表

事故区分	重機種類	コード
掘削機械	バックホー	01
	クラムシェル	02
クレーン、エレベータ、 高所作業車およびウインチ	トラッククレーン	03
	ラフタークレーン	04
	クローラークレーン	05
	クレーン（固定型）	06
	積載型トラッククレーン	07
	エレベーター	08
	高所作業車	09
	ウインチ	10
運搬機械	ダンプトラック	11
	トラック	12
	不整地運搬車	13
	トラックトラクタ	14
	コンベア	15
	モノレール	16
モータグレーダー、 路盤機械および締固め機械	モーターグレーダー	17
	スタビライザ	18
	振動ローラ	19
	ロードローラ	20
	タイヤローラ	21
維持修繕機械および除雪機械	清掃車	22
	路面切削機	23
	草刈車	24
	除雪車	25
ブルドーザーおよびスクレーパ	凍結防止剤散布車	26
	ブルドーザー	27
	スクレーパ	28
基礎工事機械	杭打機および杭拔機	29
	アースオーガー	30
積込機械	クローラーローダ	31
	ホイルローダ	32
	ずり積み機	33
削孔機械および設備機械	ソーリングソシン	34
	削岩機	35
	ブレーカー	36
コンクリート機械	コンクリートプラントおよびミキサー	37
	コンクリート吹付機	38
舗装機械	フィニッシャー	39
	アスファルトディストリビュータ	40
作業船	浚渫埋立工事用作業船	41
	起重機船	42
その他		99

作業位置コード表

コード	作業位置
1	重機の真後ろで作業
2	重機の側面で作業
3	重機の後方側面で作業
4	重機の前方で作業
5	重機の前方側面で作業
6	重機内(オペレーター)

動作状況コード表

コード	動作状況
1	前進
2	後退
3	旋回操作中
4	作業装置操作中
5	停止時
9	その他

作業内容コード表

コード	作業内容
1	掘削
2	運搬
3	締固め
4	草刈り
5	路面清掃
6	除雪
7	杭打ち
8	積込み
9	穿孔
10	切削
99	その他

作業手順無視不良コード表

コード	作業手順無視不良内容
1	エンジン未停止作業
2	玉掛確認不備
3	作業前点検不備
4	車両停止時点検不備
5	重機すべり止め対策不備
6	不適切な合図
7	ルート外走行
8	前方不注意
9	走行路不安定
10	不安全な走行姿勢
11	狭い作業空間
12	車体屈折箇所内作業
13	機械稼動中の接触（不安全行動）
14	重機との安全距離の不十分
15	吊り荷の接触・揺れ
16	アウトリガー設置不備
17	安全装置解除
18	仮置き資材の不安定
19	過積載
20	旋回操作不備
21	不安全な重機操作
22	荷下し作業不備
23	解体作業の不備
24	機械取付け作業の不備
25	重機足場の不備
26	転倒機械の連結不備
27	転落防止用ワイヤー設置不備
28	連結・調整の不備
99	その他

重機に対する向きコード表

コード	重機に対する向き
1	重機の方方向に向いて作業
2	重機に背を向けて作業
3	重機内(オペレーター)

挟まれ箇所コード表

コード	接触・挟まれ箇所	コード	接触・挟まれ箇所
01	頭	16	手
02	顔	17	指
03	目	18	腹
04	耳	19	腰
05	鼻	20	尻
06	口	21	下肢
07	後頭部	22	大腿
08	喉	23	膝
09	首	24	向うずね
10	肩	25	ふくらはぎ
11	肩甲骨	26	足
12	胸	27	足の甲
13	上腕	28	足底
14	ひじ	29	全身
15	前腕		

誘導員配置状況コード表

コード	誘導員の配置状況
1	常時配置していた
2	配置していたが気づかなかった
3	配置していたが、事故発生時には現場を離れていた
4	配置していなかった

足場墜落事故コード表（表9）

足場の種類コード	コード	足場の種類名称
	1	枠組み足場
	2	単管足場
	3	丸太足場
	4	布板一側足場
	5	一側足場
	6	つりわく足場
	7	つりだな足場
	8	脚立足場
	9	うま足場
	10	移動式足場
	11	ゴンドラ
	12	ブラケット
	13	手すり先行型足場
	14	親綱先行型足場
	99	その他

墜落箇所コード	コード	墜落箇所の種類名称
	1	手すり未設置個所から
	2	開口部から
	3	手すりの隙間から
	4	手すりの上から
	5	昇降設備移動中
	6	足場端部から
	7	足場上の脚立から
	8	足場ごと落下（足場倒壊）
	9	その他

被災者の作業区分コード	コード	被災者の作業区分名称
	1	足場解体
	2	足場組立
	3	型枠組立
	4	型枠解体
	5	鉄筋組立
	6	塗装
	7	ケレン作業
	8	安全ネット張り
	9	その他

被災者の墜落直前の行動パターンコード	コード	墜落直前の行動名称
	1	資機材上下運搬
	2	足場移動中
	3	足場上作業中
	4	足場外側移動中
	5	手すり・単管パイプ上移動中
	9	その他

被災者の安全帯使用状況コード	コード	安全帯使用状況名称
	1	使用した
	2	装着したが未使用
	3	安全帯付け替え中
	4	未装着

被災者の作業手順無視不良コード	コード	作業手順無視不良名称
	1	足場解体手順無視
	2	場設置手順無視
	3	作業手順なし
	4	足場以外移動
	5	足場移動方法不備
	6	予定外作業
	7	型枠上での作業
	8	指定外足場使用
	9	足場上積載オーバー
	10	足場上での脚立使用
	11	足場集積方法不備
	99	その他

事故報告書の記入コード表〔請負者用〕

交通事故コード表（表9）

表 9-1 一般車両の動作状況コード表

コード	車両作業状況
1	工事区域内に向けて直進進入
2	工事区域内に対して側面進入
3	通行可能車線走行中
4	規制終了後の車線変更時
5	歩道進入
6	交差点右左折
7	交差点直進
8	その他

表 A：事故発生場所コード表

コード	発生場所
1	現場外
2	現場内
3	現場出入口
4	一般公道

表 B：作業車両動作状況

コード	動作状況
1	前進時
2	後退時
3	停止時

表 C：被災者の位置

コード	被災者の位置
1	作業車両の真後ろで作業
2	作業車両の側面で作業
3	作業車両の後方側面で作業
4	作業車両の前方で作業
5	作業車両の前方側面で作業

工 事 打 合 簿

発 議 者	☐ 発注者 ☐ 請負者	発 議 年 月 日	年 月 日
発議事項	☐ 指示 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 届出 ☐ その他()		
工事年度及び工事番号	年 度 第 号		
工 事 名			
(内容)			
添付図 葉、その他添付図書			
処 理 ・ 回 答	発 注 者	上記について ☐ 指示・ ☐ 承諾・ ☐ 協議・ ☐ 通知・ ☐ 受理 します。 ☐ その他() 年 月 日	
	請 負 者	上記について ☐ 了解・ ☐ 協議・ ☐ 提出・ ☐ 報告・ ☐ 届出 します。 ☐ その他() 年 月 日	

班長(課長)	主 任	主 査	監 督 員	現場代理人	主任技術者

材 料 確 認 願

監 督 員

様

年 月 日

現場代理人 ⑩

工事年度及び工事番号 年度 第 号

工 事 名

標記工事について、下記の材料確認を実施されたい。

記

材料名	品質規格	単位	搬入数量	確 認 欄				備考
				確認年月日	確認方法	合格数量	確認⑩	

以上

監 督 員

現場代理人

主任技術者

段階確認書

施 工 予 定 表

年 月 日

特記仕様書第〇〇条に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。

工事年度及び工事番号：_____

請負人名称：_____

工 事 名：_____ 現場代理人：_____ (印)

種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事
				*受理した場合監督員が記事、受理日及びサインをする。

通 知 書

年 月 日

下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知する。

監督員：_____

確認種別	確認細別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等
				*実施した年月日を記入及び特記事項等 を実施後記入

確 認 書

年 月 日

上記種別について、段階確認を実施し確認した。

監督員名：_____ (印)

監督員

年 月 日

監督員

様

請負人名称
現場代理人

印

立 会 願

下記のとおり、立会をお願いします。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号
2. 工 事 名
3. 立会項目
4. 立会力所
5. 立会希望、月、日時間
6. その他

年 月 日

監 督 員

様

請負人名称
現場代理人



現場発生品調書

年 月 日契約の 工事における下記発生品を引渡します。

記

品 名	規 格	単位	数 量	摘 要

年 月 日

監 督 員

様

請負人名称

現場代理人

⑩

工事材料確認書

下記工事において下記材料を使用したいので、確認をお願いします。

なお、材料関係書類は責任を持って保管し、監督員等から請求のあったときは速やかに提出等します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

3. 工期 自 年 月 日
至 年 月 日

4. 使用材料一覧

番号	材料名	品質規格	製造会社名	県産品	備考

※県産品欄は、県産品は○、県認定リサイクル製品は◎、県産品で無い場合は×を記入すること。

様式1 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー ー「建設リサイクルガイドライン」様式ー

1.工事概要

発注機関名

発注機関コード*1

発注担当者チェック欄

担当者

TEL

()

請負会社名

建設業許可または解体工事業登録

大臣 知事

号

TEL FAX

() ()

会社所在地

記入年月日

H. 年 月 日

工事責任者

調査票記入者

工事名

工事種別コード*3

請負金額

千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)

左記金額のうち特定資材廃棄物の処理費用

千 百 十 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)

工事施工場所

都 道 市 区 府 県 町 村

住所コード*4

工 期

平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

工 事 概 要 等

施工条件の内容(再生資源の利用に関する特記事項等)

建築面積

延床面積

階 数

地上 階 地下 階

構 造

使 途

1.鉄骨鉄筋コンクリート造 2.鉄筋コンクリート造 3.鉄骨造 4.コンクリートブロック造 5.木造 6.その他 (数字に○をつける)

1.居住専用 2.居住産業併用 3.事務所 4.店舗 5.工場、作業所 6.倉庫 7.学校 8.病院診療所 9.その他 (数字に○をつける)

2.建設資材利用計画(実施)

注:コード*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材 (新材を含む)					再生資材の供給元 (再生資材を利用した場合に記入してください)								再生資源
分 類	小 分 類	規 格	主な利用用途	利 用 量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材の供給元場所住所	住所コード*4	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	利用率	
コード*5	コード*5		コード*6			コード*7	コード*8			コード*9	(注1)	B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
				トン							トン	%	
		合 計		トン							トン	%	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
				トン							トン	%	
		合 計		トン							トン	%	
	木 材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
				トン							トン	%	
		合 計		トン							トン	%	
	アスファルト混合物			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
				トン							トン	%	
		合 計		トン							トン	%	
その他の建設資材	土 砂			締めm ³							締めm ³	%	
				締めm ³							締めm ³	%	
				締めm ³							締めm ³	%	
		合 計		締めm ³							締めm ³	%	
	砕 石			m ³							m ³	%	
				m ³							m ³	%	
				m ³							m ³	%	
		合 計		m ³							m ³	%	
	その他 (再生資材のみ記入)			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
				トン							トン	%	
		合 計		トン							トン	%	

コード*5
コンクリートについて
1.生コン 2.無筋コンクリート二次製品 3.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む) 3.細粒度アスコン 4.アスファルトモルタル 5.加熱アスファルト安定処理路盤材
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土 7.建設汚泥改良土 8.再生コンクリート砂 9.山砂、山土等の購入土、採取土
砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉋さい 4.単粒度砕石 5.ぐり石、割ぐり石 6.その他
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他(具体的に記入)
砕石について
1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 4.その他(具体的に記入)
その他について(利用用途を具体的に記入)

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用 2.他の工事現場(陸上) 3.他の工事現場(海上) 4.再資源化施設 5.ストックヤード 6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン 2.再生無筋コンクリート二次製品 3.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む) 3.再生細粒度アスコン 4.再生アスファルトモルタル 5.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土 7.建設汚泥改良土 8.再生コンクリート砂 9.山砂、山土等の購入土、採取土
砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉋さい 4.その他
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

注1:再生資材利用量について
アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。

裏面にも御記入ください

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画(実施) 現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他																				
建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④	現場内利用・減量				現場外搬出について													再生資源利用	
		現場内利用		減量化		搬出先名称 3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所	住所コード *4	運搬距離 km *13	搬出先の種類 コード*14	受入地の用途 コード*14	④現場外搬出量	うち現場内改良分	⑤再生資源利用促進量 (注2)	促進率 (②+③+⑤) / ① (%)			
		用途コード*10	②利用量	うち現場内改良分	減量法コード*11													③減量化量		
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1	公共	民間				km		トン	トン					
	建設発生木材 (木材が廃棄物になったもの)	トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共	民間				km		トン		トン	%			
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先3	公共	民間				km		トン	トン	トン	%			
	建設発生木材 (伐木材、除根材など)	トン	トン	トン		搬出先1	公共	民間				km		トン	トン	トン	%			
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共	民間				km		トン		トン	%			
	建設混合廃棄物	トン	トン	トン		搬出先3	公共	民間				km		トン	トン	トン	%			
	金属くず	トン				搬出先1	公共	民間				km		トン		トン	%			
	廃プラスチック	トン				搬出先2	公共	民間				km		トン		トン	%			
	紙くず	トン				搬出先3	公共	民間				km		トン		トン	%			
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1	公共	民間				km		トン		トン	%			
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先2	公共	民間				km		トン		トン	%			
						搬出先3	公共	民間				km		トン		トン	%			
建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共	民間				km		地山m ³	地山m ³					
	第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2	公共	民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%			
	第三種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先3	公共	民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%			
	第四種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共	民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%			
	浚渫土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2	公共	民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%			
	合計	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先3	公共	民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%			

コード*10
1.路盤材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4」参照のこと)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、
代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている
場合)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)
最終処分場・その他
(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.最終処分場(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間
処理施設
10. その他(具体的に記入)

注2.再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類
(コード*13)が1.~5.の合計

年 月 日

監 督 員

様

請負人名称

現場代理人

印

材料品質証明資料

下記工事において使用した材料について、下記品質証明資料一覧を作成したので報告します。
 なお、品質証明資料は責任を持って保管し、監督員から請求のあったときは速やかに提出等します。

記

1. 工事年度及び工事番号 年度 第 号

2. 工事名

 3. 工期 自 年 月 日
 至 年 月 日

4. 品質証明資料一覧

番号	材料名	品質規格	製造会社名	品質証明の内容	備考

工事日誌

[illegible]

- 三、雨量計によらない場合は豪雨、大雨、小雨、俄雨、雷雨の区別を記載して差し支えない
- 二、増水により工事施工に関係ある現場では簡易な水位測定設備をつくること
- 一、本表に記載の品種は原則として、「コンクリート」のみとし他は別表とする（但し簡易のものは差し支えない）

工事中監督員の要求するとき、中間検査前及び工事完了時に提出すること

工事中は現場に常備すること

用紙の大きさは A3 判又は A4 判とすること

工事出来高率(今回) % 工事出来高率(累計) %

《参 考》

施工体制台帳 様式例－1

年 月 日

施工体制台帳

[会社名]

[事業所名]

建設業の 許可	許可業種	許可番号		許可（更新）年月日	
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日

工事名称 及び 工事内容					
発注者名 及び 住所					
工期	自 年 月 日	契 約 日	年 月 日		
	至 年 月 日				

契 約 所 営 業 所	区 分	名 称		住 所	
	元請契約				
	下請契約				

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入 未加入 適用除外		加入 未加入 適用除外		加入 未加入 適用除外	
	事業所 整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約					
		下請契約					

発注者の 監督員名		権限及び意見 申 出 方 法	
--------------	--	-------------------	--

監督員名		権限及び意見 申 出 方 法	
現場 代理人名		権限及び意見 申 出 方 法	
監理技術者名 主任技術者名	専 任 非専任	資 格 内 容	
専 門 技 術 者 名		専 門 技 術 者 名	
	資 格 内 容	資 格 内 容	
	担 当 工 事 内 容	担 当 工 事 内 容	

外国人建設就労者の 従事の状況（有無）	有 無	外国人技能実習生の 従事の状況（有無）	有 無
------------------------	-----	------------------------	-----

《参 考》

施工体制台帳 様式

《下請負人に関する事項》

会 社 名		代 表 者 名	
住 所			
工 事 名 称 及 工 事 内 容			
工 期	自 年 月 日	契 約 日	年 月 日
	至 年 月 日		

建設業の 許可	施工に必要な許可業種	許可番号		許可（更新）年月日	
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入 未加入 適用除外		加入 未加入 適用除外		加入 未加入 適用除外	
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		

現場代理人名		安全衛生責任者名	
権限及び 意見申出方法		安全衛生推進者名	
主任技術者名	専 任 非専任	雇用管理責任者名	
資格内容		専門技術者名	
		資格内容	
		担当工事内容	

外国人建設就労者の 従事の状況（有無）	有 無	外国人技能実習生の 従事の状況（有無）	有 無
------------------------	-----	------------------------	-----

施工体系図

発 注 者 名	
工 事 名 称	

工期	自	年	月	日
	至	年	月	日

元 請 名	
監 督 員 名	
監 理 技 術 者 名	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担当工事内容	
専 門 技 術 者 名	
担当工事内容	

会 長	統 括 安 全 衛 生 責 任 者

副 会 長	

元方安全衛生管理者

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

工事	会 社 名	
	安全衛生責任者	
	主 任 技 術 者	
	専 門 技 術 者	
	担当工事内容	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	

施工計画書 現場組織表

元請会社名	
許可番号	
現場代理人名	
【写真添付欄】	

主任(監理)技術者名	
元請負金額	
工期	
専任・非専任	
【写真添付欄】	

- 【注意事項】
1. 全ての下請負契約書(写)を添付の事。
 2. 下請負者の主任技術者の写真は専任の場合のみ添付の事。
 3. 添付する写真は、
縦 3cm
横 2.5cm
程度の大きさとし、
顔が判別できるものとする。
 4. カラーコピー、もしくはデジタルカメラ写真を印刷したものでもよい。
 5. A3版で作成したものでもよい。

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	会社名	
	許可番号	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	下請負工事名	
	会社名	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	下請負工事名	
	会社名	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	

工事	下請負工事名	
	会社名	
	下請負金額	
	主任技術者名	
	工期	
	専任・非専任	
	【写真添付欄】	
	『専任のみ』	